

# おれんじの屋根

施設長より

## 北岡太士さんとお別れ、初めての「看取り」

入所利用者さんの北岡太士さんが、5月17日に永眠されました。享年62歳でした。

北岡さんは、平成27年12月にグループホーム千金甲に入られ、平成29年9月から入所を利用されていた、日頃からもの静かで穏やかな方でした。

利用者さんに職員が終日付き添ってお出かけする自由の旅で、北岡さんとは、平成30年に大牟田動物園・草枕温泉、令和1年は、高森トンネル、あそ望の郷、四季の森温泉に出かけました。夏だったので高森トンネルに入ったら、寒がりだったらしくとても寒がられたことや、温泉に行った際、脱いだ衣服をきちんと畳まれる姿を見て、北岡さんの几帳面さとそれまでのしつけや教育に感心したことを鮮明に覚えています。

北岡さんは、しょうぶの里として、初めて「看取り」を行ったケースとなりました。

4月下旬から徐々に衰弱が進行し、食事もだんだん入らなくなり、連休前から容態が心配な状態になりました。突然の容態変化で、職員は、「看取り」の知識や理解、経験がまったくない中、考えたり話し合ったりする時間や心の準備も不足して、不安や戸惑いが広がった時期でした。特に職員2人の夜勤のときに「もしもがあったら……」という不安は非常に大きかったです。

そこで、連休明けの5月8日の職員研修で「看取り」の研修を行いました。看護師からの「看取り」の説明のあと、グループに分かれて自由に意見を出し合うようにしました。

研修には、在宅訪問クリニックの看護師も参加していただき、最後のまとめで、「グループディスカッションでしょうぶの里のスタッフの方々の考えを聞いて、皆さんに北岡さんを任せられるなど安心しました。」というコメントをいただきました。

研修で、職員はある程度理解はできたと思いますが、それでも不安は残るし、自分はしたくないという人もいたでしょう。特に容態が急変しても救急車を呼ばない（※救命処置をしない看取りでは、容態急変時は訪問診療のかかりつけ医へ連絡）ことには心理的な抵抗が大きかったと思います。

翌9日（火）の朝会で、①本人はこの1ヶ月でかなり衰弱し食事すら入らなくなっているが、ダウン症の人の62歳は一般の人の80~90歳の状態で、治療による改善は困難なこと。②北岡さんの場合、何かあれば24時間対応の在宅訪問診療が受けられること。③（本人の意思確認は難しいが）社会福祉士として障がい福祉の第一線におられた後見人が、延命治療は望まず、しょうぶの里でできる範囲でケアをしてもらい、皆さんに囲ま

れて自然な最期を迎えさせてあげたいとの意向であること、④看取りに関して経験豊富な看護師がいること、何よりも、⑤北岡さんにとって、どこで、誰と、何をすることが一番よいか（幸せか）を考えたとき、しょうぶの里で最期まで過ごさせてあげるのがいいのではないかと、利用者さんを大切にしょうぶの里だからこそできることだと思うと、しょうぶの里として初めてとなるが、「看取り介護」を実施したい旨を、全職員に書面で伝えました。

この日までも、この日以降も、訪問診療を受けながら、北岡さんの様子の確認を頻繁に行い、ていねいな支援や介護を行う以外に特別なことはできないものの、亡くなるまでの約1週間、北岡さんは、今までと同じように、他の人の声やものの音が聞こえる慣れ親しんだ場所で、いろいろな人の話しかけに顔を向けて和やかな表情をされたりと、安らかな最期を迎えることができたのではないかなと思います。

生を終えられた北岡さんは、葬儀社から届いた棺の中で、通所を含む利用者さんや職員、関係者の方から花を手向けられてお別れを受け、しょうぶの里で最後の一夜を過ごされ、翌日しょうぶの里を旅立たれました。

初めての「看取り」で何が正解かは分かりませんし、もう少しできたのではないかと思うところはもちろんあるでしょうが、しょうぶの里としても、個々の職員としても、できることを精一杯行ったのではないかという気がしています。

研修資料として使用した長崎県南保健所作成の手引の一文、「死は怖いものだという思い込みにとらわれてはいけません。終末期、自然な最期は、一生懸命生きてきた者にとっては神様が与えてくれる永遠の休息ともいえます。」との言葉がとても心に響きます。

北岡さんの死は悲しいことです。ですが、誠実に人生を歩んで来られたことの方に目を向けて、精一杯、生を全うしゴールを迎えられた北岡さんに、「今までよく頑張ってくださいましたね。」と言葉をかけてあげたいと思います。

亡くなった人の存在（思い出）は、生ある者の中にこそ残るもの。北岡さんは、利用者さんや職員、関係者の方の心の中で生き続けていこうと思います。

北岡さん逝去の報に接し、誠に勝手ながら今号の《書き遊ぶ》はお休みさせていただきます。

# MEMO



北岡さん、素敵な笑顔があり  
ありがとうございました。  
安らかに…。 合掌

## 給食室より

### 6月 June イベントメニュー

- 6月 2日(火) 誕生会
- 6月14日(水) リクエストメニュー(昼)
- 6月16日(金) 手作りおやつ
- 6月23日(金) 夏まつりメニュー(夕)
- 6月27日(火) リクエストメニュー(昼)



#### 《水の飲み方について》

今年も暑い夏が訪れようとしています。体の大部分を占める水分をどう摂るかはとても大切です。

#### 《ポイント》

- ・一気に飲みすぎない  
(一度に500mlの水を飲んで吸収がうまくできずむくんでしまう。)
- ・常温か白湯で飲む。  
(冷たい水は内臓を冷やし代謝が悪くなってしまいます。)
- ・水分補給は水分/ノンカフェイン(麦茶、ハーブティ)にする。  
(カフェインが含まれる飲み物(コーヒー・お茶)には利尿作用があり水分補給にはならない。)



管理栄養士 厚地

## 医務室より

### 思い...



5月17日、北岡太士さんが天国へと旅立たれました。看取りの時期に入ってから職員全員で心を込めたケアを続けてきました。

旅立たれた時、まだ温もりの残る体を抱きしめて、「よく頑張られましたね」とねぎらいの言葉をかけました。

今、北岡さんがいないことが寂しくて、悲しくてたまりません。“寂しい”“悲しい”のは、そこに“愛”が存在した証。誰もが北岡さんを大切に思っていました。

限りある人生を懸命に生きて幸せな思い出をたくさん置いて逝かれました。北岡さんの人生が終わる時に寄り添うことができた私たちは本当に幸せでした。

ゆっくり休んでください。。。。

※看取りに関わってくださったすべての方々に心より感謝申し上げます。



看護師 武田

### 《6月の行事予定》

- ☆ 1日(木) 訪問歯科
- ☆ 2日(金) 誕生会
- ☆ 6日(火) 焼きとうもろこし大会
- ☆ 8日(木) 訪問歯科
- ☆ 12日(月) 職員研修会
- ☆ 15日(木) 訪問歯科、自由の旅
- ☆ 20日(火) 自由の旅
- ☆ 22日(木) 訪問歯科
- ☆ 23日(金) 夏まつり
- ☆ 26日(月) 職員会議
- ☆ 29日(木) 夜間避難訓練

※予定ですので変更になることがあります。ご了承ください。

#### ～編集後記～

穏やかなお願でした。利用者さんや職員の聞きなれた声を聞きながら旅立たれたのかなあと感じるほどとても穏やかなお願でした。

いつもニコニコされ、「こんにちは」というとニコッと微笑んで「こんにちは」と返してくれました。寂しくなります…。お冥福をお祈りいたします。 合掌

#### ～～第73号～～

令和5年5月25日発行  
発行元 しょうぶの里  
熊本市西区小島9丁目14-58  
TEL (096) 311-4588

